

2017春季生活闘争

J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス N o . 2

2017年2月7日

日本鉄道労働組合連合会

J R 北 労 組 「 第 14 回 拡 大 中 央 委 員 会 」 開 催 ！

J R 北 海 道 の 信 頼 回 復 と 再 生 に 向 け た 安 全 の 確 立 、 「 鉄 道 事 業 範 囲 見 直 し 」 へ の 対 応

魅 力 あ る 労 働 条 件 の 創 出 に 向 け た 総 合 生 活 改 善 闘 争 の 展 開 ！

民 主 化 闘 争 完 遂 に 向 け た 組 合 員 総 掛 かり の 取 り 組 み を 決 定 ！！

J R 北 労 組 は、2月5日、札幌市「かでの2.7」において、第14回拡大中央委員会を開催し、「安全の確立に全力を挙げ、政策・組織課題を解決し、まともな労働者の総結集で、民主化闘争の完遂をめざそう！」をスローガンとする、当面の活動方針を決定した。

冒頭、田原中央執行委員長があいさつに立ち、税制改正等の取り組み経過と成果や、『J R 北海道が昨年公表した『鉄道事業範囲の見直し』による内外の混乱とJ R 北 労 組 の 考 え 方 等 を 示 し つ つ、「 会 社 が 危 機 的 な 状 況 に あ る 中 春 闘 の 環 境 は 極 め て 厳 し い が、 若 手 社 員 の 退 職 が 毎 年 続 く 中、 道 内 で も 低 い 水 準 の 賃 金 や 労 働 条 件 で は ヒ ト の 確 保 も で き な い。 退 職 理 由 は 賃 金 だ け で は な い と 考 え る が、 安 全 確 立 の た め に 奮 闘 す る 組 合 員 の 労 働 条 件 の 向 上 は 必 須 で あ り、 J R 北 海 道 で 働 く 未 来 あ る 青 年 を 失 望 さ せ て は な ら な い。 J R 連 合 統 一 要 求 方 針 に 基 づ き ベ ア 3,000 円 を 含 む 月 例 賃 金 総 額 6,000 円 の 要 求、 総 合 生 活 改 善 闘 争 に 取 り 組 む。 J R 北 労 組 が 提 起 し た 『 J R 北 海 道 再 生 プ ラ ン 』 『 5 つ の 新 提 言 』 を 実 現 し、 国 民、 道 民 の 信 頼 を 取 り 戻 そ う ！ そ し て、 民 主 化 闘 争 の 完 遂 に 向 け て、 全 組 合 員 総 掛 かり の 取 り 組 み を し よ う ！！ 」 と 全 組 合 員 総 団 結 の 取 り 組 み を 熱 く 呼 び け け た。

J R 連 合 か ら は、 政 所 政 策 調 査 部 長 が 出 席 し、 2017 春 季 生 活 闘 争 の 位 置 付 け や 要 求 ・ 取 り 組 み 内 容、 喫 緊 の 政 策 課 題 で あ る 「 持 続 的 な 交 通 体 系 の 確 立 」 に 向 け た 活 動 の 展 開、 民 主 化 闘 争 の 完 遂 に 向 け た 取 り 組 み に つ い て、 全 組 合 員 の 理 解 と 奮 起 を 要 請 し た。

議 事 で は、 執 行 部 か ら 定 期 大 会 以 降 の 活 動 報 告、 業 務 経 過 報 告、 そ し て 当 面 の 活 動 方 針（ 案 ） を 提 起、 出 席 し た 中 央 委 員 か ら、 民 主 化 闘 争 や ダ イ ヤ 改 正 へ の 課 題 認 識 の 反 映 の 要 請、 高 年 齢 者 が 働 き 続 け ら れ る 取 り 組 み の 必 要 性 等 に 関 す る 発 言 が あ っ た。

そ し て 安 全 の 確 立、 賃 金 に 加 え て 多 く の 労 働 条 件 ・ 職 場 環 境 改 善 を 含 め た 2017 春 季 生 活 闘 争 の 展 開、 総 掛 かり の 民 主 化 闘 争 の 完 遂、 産 業 政 策 課 題 へ の 対 応 に 向 け た 当 面 の 活 動 方 針 を 確 認 し、 全 機 関 ・ 組 合 員 が 奮 闘 す る こ と を 満 場 一 致 で 決 定 し た。

そ の 後、 委 員 会 宣 言 が 承 認 さ れ、 最 後 に 田 原 委 員 長 の 団 結 ガ ン バ ロ ー で 閉 会 し た。

以 上